

雄武中だより

【重点目標】夢や目標をもち、新たな学びに向かう力を高める生徒の育成

学校HP <https://oumu.schoolweb.ne.jp/0120012> →



6 月 号

令和 7 年 6 月 30 日 (月)

発行：雄武町立雄武中学校

電話：(0158)-84-2529

精一杯の努力と成功体験から得るもの

校長 辻 正 樹

5月31日(土)に運動会を開催しました。9日間の練習期間中には雨の日があり、当日も気温が低く霧雨が降りましたが、何とか無事運動会を実施することができました。

子どもたちが学年や紅白で団結し、真剣に取り組む運動会は、数々のドラマを生み出します。勝利をつかむための精一杯の努力と成功体験、あるいは失敗体験とその悔しさからも大きな学びがあり、成長の糧を得ることができます。

この時期の一大行事である運動会の成否が、その後の学級づくりや学校生活に大きな影響をもつのを十分に知っている教師と子どもたちの10日間にわたる協働の取組には力が入ります。

今年も、日増しに大きくなる掛け声、励まし合い、互いを鼓舞する姿に、雄武中学校の伝統と中学生らしい集団としての高まりを感じました。1・2年生も先輩の姿を間近で見ることを通して、大きく成長できました。

本番では、競い合いグラウンド中を躍動する姿を見たり、励まし合い応援し合う声を聞いて、大変すがすがしく感じました。そして、閉会式での生徒一人ひとりの真剣な眼差しからは、得るものが大きかったことを十分に感じ取ることができました。

結果は白組の優勝、学年種目である「大縄跳び」では、3年生が1位となりました。

運動会は所期の目標を達成し、生徒の雄武中学校への帰属意識を一層高めることができました。ご来賓、ご家族、地域の皆さまのご声援に深く感謝いたします。

さて、運動会を終えるとすぐに中体連大会の時期を迎えます。中学校に入学以来積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮してほしいと思います。

決して勝つことだけを目的にして続けてきた部活動ではありませんが、強い気持ちで上を目指して精一杯頑張してほしいと願っています。また、決してあきらめないフェアな熱いプレーで、雄中生らしさを見せてほしいと思います。運動会に続く中体連大会という大きな舞台でも更なる成長を期待しています。

